

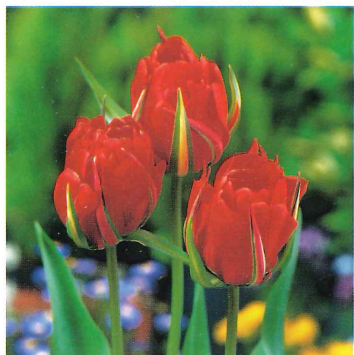
チューリップ

四季だより

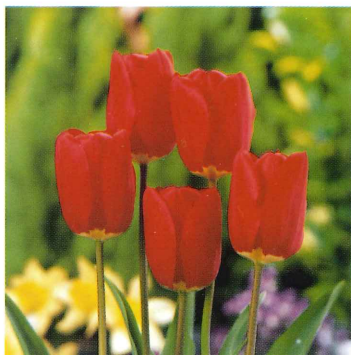
あけまして
おめでとーござい
ます。



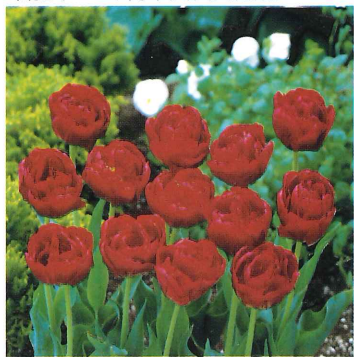
あけぼの(1981/青木長次氏育成)



新拓(1996/青木長次氏育成)

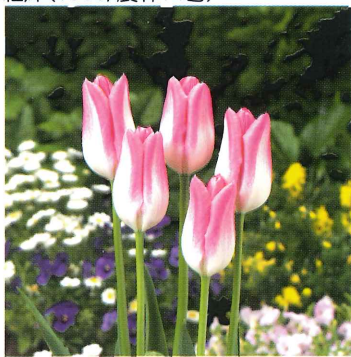


紅輝(1986/農林14号)



紅獅子(1982/清都常好氏育成)

写真提供/富山県花卉球根農業協同組合



初桜(1991/農林16号)

「新年にふさわしく」

チューリップの品種は一九九六年にオランダ王立球根生産者協会から発刊された「チューリップ品種の分類と国際登録リスト」と二〇〇五年に発刊された追加リストに掲載されている品種をあわせると七〇〇〇品種以上になります。

チューリップは国内外で毎年新しい品種が増え、チューリップ遺伝資源センターでは二〇〇〇を超える品種が遺伝資源として保存栽培されています。

富山県の球根生産の歴史は古く、球根産地としてオリジナルの品種を数多く持っています。一九五二年(昭和二十七年)に富山チューリップ育ての親の水野豊造氏がわが国最初の育成品種「天女の舞」「王冠」「黄の司」を発表して以来、富山県内で育成された品種は一一〇品種以上になります。

上記のチューリップは富山で育成され、新年を連想する輝かしい名前がつけられています。時には子供の名前をつけたりと、チューリップの名前は作り出した人の思いがたくさん込められているようです。

四月に開催するとなみチューリップフェアでは国内最多となる五〇〇品種ものチューリップをご覧いただくことができます。名前を見ながらチューリップを鑑賞するのも楽しいかもしれません。

2010
Vol.46

随想 花のまちづくりは恵み野から 北海道へ…そして

内倉 真裕美

恵庭市恵み野地区に移り住んだのは一九八八年三月のこと。当時、振興住宅街として売り出されて間もない「恵み野」は新築ラッシュで、街並みは目映いばかりに輝いていました。小学校に通う二人の息子と三歳の娘が故郷になる、ここ「恵み野」は千歳と札幌の中間地点で、通勤の多い夫が、単身赴任で通うのにも絶好の場所でした。

ところが、ウキウキしているそんな私に水を差したのが「振興住宅街は新しいときだけは綺麗だが、住宅も人も古くなると汚くなる…」という衝撃的な言葉でした。そして、話は「花でまちづくりをしたら年を重ねるごとに街並みは美しくなる」と続きます。私の花のまちづくり活動はこの言葉をきっかけにスタートしたのです。

ガーデンシティー恵庭にすべく、ニュージールランド・クライストチャーチを真似て一九九一年フラワーガーデンニングコンテストの開催。花のサークル「花づくり愛好会」や商店街で花の組織を作り、町内会や小中

学校を巻き込んだ十六団体加入の花の組織「恵み野花協」へと展開していきます。ガーデンニングなどという言葉がまだ無い時代に、洋書を見ては「こんな街並みが出来ば・・・」と夢を見ていた私。

振り返れば、あつという間の二〇年でした。新興住宅街だった「恵み野」を故郷と言える街にしたかった私は、母の一念で走ってきました。

そんな子ども達も皆、成人となり今では、二人のお祖母ちゃんになりました。活動を見て何よりも嬉しいのはやはり、恵み野に住む子どもたちが、「花の街」と意識してくれるようになったことでしょうか。

北海道の春は、雪に閉ざされた長い銀世界が太陽の光を浴びて少しずつ解け出し、雪の中から黄色い福寿草が咲き、雪解けの頃には薄紫やピンクのエゾエンゴサクが咲き出します。そのころ街中ではクロッカスが顔を出すと、待ってましたとばかりに一齐に色取り取りのチューリップが咲き出します。北海道ではこれらが本格的なガーデンニングシーズン

となるのです。眠っていたのは草花だけではありません。ゴールデンウィークには、庭の準備をする人たちでガーデンセンターが大賑わいとなります。そんな風に待ちわびて始まる北国のガーデンニングです。

二〇〇一年には仲間と一緒に「オープンガーデンズ・オブ北海道」という雑誌を作り、毎年発行しています。もう一〇年を迎えますが花仲間は綿毛に運ばれたように、北海道から全国へとネットワークを広げています。

今私は「庭園の島・北海道」を目指す「ガーデンアイランド北海道」に取り組んでいます。このように私の夢は何処まで広がっていくのでしょうか。



商店街の庭。我が家の店舗「きょうと」前庭



個人邸のオープンガーデン
(北海道上富良野-松下邸)



【略歴】
内倉 真裕美氏

夕張郡由仁町生まれ。恵庭市恵み野で花の街づくりを実践。現在は「ガーデンアイランド北海道」副理事長。北海道のオープンガーデン雑誌を作り、「ブレイズ種時く私たち」代表ほか各種花団体の事務局長を兼務する。

これまでに、同氏が関係し、数々の花や緑のコンクールで多数受賞。その他、ガーデンニング講師、NHK他テレビ多数出演するほか、朝日新聞や花新聞でもコラムを多数掲載。

五感で楽しむチューリップ

チューリップスイーツで甘い時間を



ご存知の通り、人間は「視覚」「嗅覚」「触覚」「聴覚」「味覚」という五つの感覚を持ち合わせています。

この五感を存分に使ってチューリップを楽しみましょう。花を見香りを嗅ぎ、触れてみることも出来ます。もしかすると葉からこぼれ落ちる朝露の音が聴けるかもしれません。

では「味覚」はどうでしょう。食べられるのでしょうか。

食材としてはあまり向かないと思われがちなチューリップですが、特産品のこの花を何とか商品化への取り組みが、砺波市内の店舗で続けられています。

同市内のフランス料理店「ラ・テューリップ」では、チューリップの花びらを使ったロールケーキ「ちゅーりっぷロール」を考案、販売されました。

ケーキ生地やクリームには花びらが練り込まれ、ほのかなチューリップの味と香りがします。味がぼんやりしないよう生クリームの中に海洋深層水塩をきかせる工夫もまた所々に散らされた花びらがかすかに残り、チューリップの食感も楽しめます。



ちゅーりっぷロール ※1月以降販売再開予定

材料となる花びらは、栽培段階から特別に依頼した無農薬の赤色二品種を使用。生の花びらは香りがきつく、ほのかな香りに抑えたいため分量は数回微調整されたとの事です。花びらを中心に混ぜ込むと水分が出て周りだけが所々赤ピンク色に染まります。生クリームの白色と対照的に見た目もステキ。オープン当初から地元砺波のチューリップを使った商品開発に関心があったというシェフ、スイーツにどうかとコース料理のデザイナーとして出されたのがきっかけでした。

「やってみたかっただけ」と語るシェフですが、評判は良く売れ行き

も好調。お使い物として、また手土産にと一度にたくさん購入されるお客さん多いとか。送って欲しいという要望もあり、今後は地方発送やアンテナショップでの販売なども検討中だそうです。この「ちゅーりっぷロール」が新たな砺波のお土産として定着し、チューリップの産地砺波が全国に広まっていけば、と望まれています。

今後の課題は花びらの確保。花びらの重量は乾燥させると十分の一に減るため、通年販売と量産を目指す場合は大量のチューリップが必要になります。完全無農薬への思いは強く、お店の料理にも自家菜園の有機野菜が並びます。

今回は誰でも味が想像しやすいロールケーキでの試作でしたが、他のチューリップスイーツが登場する日も近そうです。



フランス料理 ラ・テューリップ
砺波市狐島185 TEL(0763)33-7383
<http://www.la-tulip.jp/>

砺波のお土産としてお馴染みのチューリップに因んだお菓子を紹介しましょう。



花びらジャムの入った
チューリップアイス



球根菓



チューリップの花びら



チューリップゴフル



球根パイ

お昼下がりのひと時、チューリップスイーツで
お腹と五感を満たしてみませんか？

これらの商品は四季彩館ショップ及び道の駅フラワーランドとなみで取り扱っています。

(株) フラワーランドとなみ
砺波市宮沢町3-9 TEL(0120)10-7387
<http://www.flt.co.jp> mail:info@flt.co.jp

第24回 春を呼ぶチューリップ展

日本美の流れ～和の庭へのさそい～

和風の庭をテーマとして、チューリップやクリスマスローズなどの草花で一足早い春を彩ります。

と き：2月5日(金)～2月14日(日)午前9時～午後6時

ところ：チューリップホール

入場料：大人・高校以上 500円

小・中学生 250円

小学生未満 無 料

●お茶席(抹茶) 午前9時30分～午後3時 有料
2月5日(金)6日(土)7日(日)11(祝)13(土)14(日)

●ロープワーク体験 午前10時～正午 体験無料
2月6日(土)7日(日)13(土)14(日)
庭師がお教えします。是非体験ください。

●フラワーアレンジ教室 午後1時30分～
2月6日(土)7日(日)13(土)14(日)
先着20名 材料費：1,000円
チューリップを使ったミニアレンジを作ります。
参加希望の方は電話にてお申し込みください。



▲第22回春を呼ぶ
チューリップ展より



▲ロープワーク体験

季節展示

「童話の世界 ～ブレーメンの音楽隊～」

‘童話の世界’の第7回のテーマは「ブレーメンの音楽隊」
チューリップやスイセンなどの花々で早春を彩ります。

と き：1月4日(月)～2月2日(火)

ところ：チューリップテラス



企画展

**2010新春の創作おりがみ
花・華・はな展**

新年をイメージさせる干支の
折り紙やウメやツバキなど花の
創作折り紙を展示します。本に
は載っていないオリジナル折り
紙をどうぞご覧下さい。



と き：1月4日(月)～1月26日(火)

ところ：2階セミナールーム及びギャラリー

協 力：川縁 遊氏ほか

**ジュエリーフラワーで飾る
バレンタインデー**

キラキラ輝くジュエリーフ
ラワーで咲かせる新しい世界
をどうぞお楽しみください。



と き：2月5日(金)～2月14日(日)

ところ：2階セミナールーム

協 力：フラワーアトリエ花ろまん代表
藤井京子氏



チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP GALLERY

富山県砺波市花と緑の財団 〒939-1381 富山県砺波市中村100-1
TEL (0763) 33-7716 FAX (0763) 33-0090
<http://www.tulipfair.or.jp>

